



被爆80周年  
《Piece of Peace》  
~平和のかけら~

広響  
名曲コンサート

# 音楽の花束 〈春-秋-冬〉



ひろしま国際平和文化祭  
HIROSHIMA FESTIVAL



©井村重人

2024国際コンクールの優勝者を迎えて

「名曲」-それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。

名曲の数々を花束にして お届けする年3回のシリーズ。

2025年度は2024年に開催された国際コンクールから、

広島と浜松、チューリッヒの各コンクールの優勝者を迎える、

歴代の作曲家たちの「第1番」のコンチェルトとシンフォニーで継めました。

才能あふれる若きアーティストたちの華やかなステージにご期待ください!



©Géza Anda -Foundation/  
Dmitry Khamzin

《秋》11.8 [土] 15:00 | 14:00  
2025 開演 開場

指揮 沼尻竜典

ピアノ 鈴木愛美(第12回浜松国際ピアノコンクール 優勝)

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15

ショスタコーヴィチ:交響曲第1番へ短調作品10

《冬》2.28 [土] 15:00 | 14:00  
2026 開演 開場

指揮 デイヴィッド・レイランド

ピアノ イリヤ・シュムクラー(第16回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール 優勝)

ショパン:ピアノ協奏曲第1番ホ短調作品11

シューマン:交響曲第1番変ロ長調作品38「春」

広島国際会議場フェニックスホール

料金(1回分) S¥5,000(ペア¥8,000) A¥4,000 B¥3,000 (学生¥1,500)

※税込・全席指定 ※学生は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取り扱い)

チケット発売日 [秋] 2025年5月12日(月) [冬] 2025年11月10日(月)

チケット取扱い JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。公演の最新情報は広響ホームページにてご確認ください。

主催:広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社



助成:



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
|独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

特別協賛: 中国電力 協賛: 株式会社花満・広島県医師会・広島市医師会  
お問い合わせ 広響事務局 Tel.082-532-3080 [受付時間/平日 9:00~17:20] <http://hirokyo.or.jp>



広響  
名曲コンサート

# 音楽の花束 〈春秋-冬〉

〈秋〉

浜松国際ピアノコンクールは、浜松市市制施行80周年を記念して1991年から開催された。浜松市はヤマハが創業した土地であり、ヤマハから分かれたカワイも浜松で創業するなど、我が国における楽器メーカーがひしめく「楽器のまち」として知られる。1997年から中村紘子が長年にわたり審査委員長を務めたことで世界的に知られるコンクールへと成長発展を遂げ、以後歴代優勝者たちは華々しい活躍で注目を集めている。現在、2018年から小川典子が審査委員長を務め、第12回大会となった2024年11月23、24日の最終審査において、鈴木愛美が日本人として初優勝を飾り、合わせて室内楽賞と聴衆賞を受賞した。鈴木は2023年の第47回ピティナピアノコンペティション特級グランプリおよび第92回日本音楽コンクールでも優勝している。



指揮:沼尻竜典 Ryusuke Numajiri, Conductor

神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コミッショ・オーバー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。16年にわたって芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、2017年より4年間かけてミヒャエル・ハンベの新演出による《ニーベルングの指環》を上演、空前の成功を収めた。2023年4月より桂冠芸術監督に就任。14年にはオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

〈冬〉

チューリッヒで開催されているゲザ・アンダ国際ピアノコンクールは、日本ではあまり知られていないが、1900年代半ばに活躍した名ピアニストであるアンダ・ゲーザの名を冠したコンクールで、1979年以来3年に1回の割合で開催されている。過去日本人の優勝者はいないが、藤原由紀乃が第3回大会で1位なしの2位で最高位を受賞(第4回大会でも2位)。第9回大会で河村尚子が3位を受賞した。2024年に開催された際には、広響に関係が深い細川俊夫とマルタ・アルゲリッチが審査員を務めたことで、当コンクールの優勝者を出演者として招くこととなり、モスクワ出身のイリヤ・シュムクラーが見事優勝を飾った。シュムクラーは、コンクールへの挑戦やリサイタル等で度々日本を訪れ、2019年の第3回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールでも優勝している。



指揮:デイヴィッド・レイランド David Reiland, Conductor

ベルギー出身。モーツアルトの指揮に定評があり、注目される。ザルツブルク・モーツアルテューム管の副指揮者を経て、2018年からフランス国立メス管(旧フランス国立ロレーヌ管)とローザンヌ・シンフォニエッタの音楽監督を務めている。また、2020年にデュッセルドルフ響の「シューマン・ゲスト」、2022年には韓国国立響の音楽監督・首席指揮者に就任した。

ベルギー国立管や王立リエージュ・フィルなど自国のオーケストラと定期的に共演するほか、近年はトゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンド管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ベルリン・コソツェルトハウス管、都響、京響、大阪フィルなどにも招かれている。オペラにも積極的で、ソウル、ジュネーヴ、アントワープ、ライプツィヒ、ベルリンなどでモーツアルト《魔笛》《コジ・ファン・トウッテ》《皇帝ティートの慈悲》などのほか、《フィデリオ》《カルメル派修道女の対話》《トスカ》《椿姫》《エフグニー・オネーゲン》《ナブッコ》《サムソンとデリラ》《ホーフマン物語》《ファウスト》《真珠採り》《マハゴニー市の興亡》といった作品を指揮している。

録音も多く、ゴダールの交響曲第2番やオーベールのオペラ《水の精》など、演奏機会が稀な作品のCDをリリース。



ピアノ:イリヤ・シュムクラー Ilya Shmukler, Piano

2024年ゲザ・アンダ国際ピアノコンクールで第1位に輝き、4つの主要部門賞を受賞。これまでにミハイル・ブレトニヨフ、バーヴォ・ヤルヴィ、マリン・オルソップ、ニコラス・マギガノ、広上淳一、アン=マリー・マクダーモット、アントン・ネル、デイヴィッド・ラジンスキらと共に演奏。チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ヴィンタートゥール音楽院、マリインスキイ劇場、フォートワース交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、カンザシティ室内管弦楽団、バイエルン交響楽団、ニューミュージック・オーケストラと共に演奏した。

2022年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでファイナリストに選出され、「モーツアルト協奏曲最優秀演奏賞」を受賞、さらに同年カーネギーホール・デビューオーディションに優勝し、ニューヨークでデビューを飾る。

モスクワ音楽院をエレナ・クズネツォワとセルゲイ・クズネツォフの指導の下、卒業。現在はパーク大学(米国)でスタニスラフ・ユデニッチに師事し、研鑽を積む。



ピアノ:鈴木愛美 Manami Suzuki, Piano

2024年第12回浜松国際ピアノコンクール第1位および室内楽賞、聴衆賞。  
2023年第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞。  
2023年第92回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)。  
2002年大阪府生まれ。4歳よりピアノを始める。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)を首席で卒業。現在、東京音楽大学大学院修士課程に特別特待生として在学中。第27回フッペル鳥栖ピアノコンクールフッペル部門第1位。第32回宝塚ベガ音楽コンクール・ピアノ部門第4位。ピティナ・ピアノコンペティション全国大会において、第36回C級入選、第42回F級ベスト17賞受賞。第17回「万里の長城杯」国際音楽コンクールピアノ部門中学生の部第1位。2020年度より毎年「東京音楽大学ピアノ演奏会~ピアノ演奏家コース成績優秀者による~」に出演。浜松国際ピアノアカデミー2023および2024、2024年第45回霧島国際音楽祭に参加。

©井村重人

©Géza Anda-Foundation/  
Dmitry Khamzin